

特殊詐欺の認知状況（平成30年10月末） キャッシュカードをだまし取る手口に要注意！

1 県内の特殊詐欺の認知状況（平成30年10月末現在）

- 被害認知件数は**42件**（前年同期比－49件）
- 被害額は**約8,710万円**（前年同期比－約9,480万円）
- 架空請求詐欺被害が最多（被害全体の約62%）

2 平成30年10月中の認知状況

- 被害認知件数は**2件**（前年同月比－8件）
- 被害額は**250万円**（前年同月比－約1,630万円）
- 手口別では、
架空請求詐欺（有料サイト利用料金名目等、その他）2件

3 県内で発生した特殊詐欺類似事例の紹介（10月中）

○ 警察官を装う不審電話が多発！

県内では、本年10月27日以降、高齢者方に警察官を名乗る男から特殊詐欺の予兆と思われる不審電話が相次ぎました。

不審電話の内容は、

- ・ 詐欺の犯人を捕まえたところ、犯人が持っていたリストにあなたの個人情報が載っていた
- ・ キャッシュカードが偽造されお金が引き出されているかもしれないなどというものです。

このうち、諫早市内では、電話の相手（犯人）が

- ・ 金融庁の者が家に行くので、キャッシュカードと暗証番号を書いた紙を準備してください

などと言ってキャッシュカードを準備させ、金融庁を名乗る者が被害者宅を訪問し、被害者が目を離したすきに、キャッシュカードを盗む特殊詐欺に類似した窃盗事件も発生しています。

《注意》

公的機関を名乗る不審電話があった場合は、一旦電話を切り、正規の電話番号を調べてから、直接公的機関に問い合わせてください。

～被害者の年齢・性別構成～

年齢	平成30年10月末		
	男性	女性	計
～ 19	1	－	1
20 ～ 29	1	4	5
30 ～ 39	3	2	5
40 ～ 49	1	2	3
50 ～ 59	4	4	8
60 ～ 64	1	1	2
65 ～ 69	1	2	3
70 ～ 79	－	6	6
80 ～ 89	－	9	9
90 ～	－	－	－
合計	12	30	42
内65歳以上の高齢者	1	17	18

～特殊詐欺全体の被害金交付形態～

交付形態	平成30年10月末 件数
振込型 （犯人が指定する口座に振り込ませる）	14
現金手交型 （犯人が直接現金を受け取る）	2
現金送付型 （郵便や宅配便などで現金を送らせる）	10
電子マネー型（コンビニで電子マネーを購入させる）	8
キャッシュカード受取型	2
収納代行利用型（コンビニ決済）	6
合計	42